

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	消防団員退職報奨金				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		1	9	1	2	11		3
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	退職する消防団員	退職団員数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	190	190
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	功労を報奨する	退職報償金支給者数	18目標	最終目標		
			18実績	194	19目標	190
		23目標	190	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	消防組織法の規定により、飯田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例に基づき退職報償金を支給する。 <参考>細々目名:消防団員退職報償金	消防団員に退職報償金を支給する。	退団者数	194
		消防団員に退職報償金を支給する。	退団者数	190

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	20,108	20,108
	一般財源	4,892	4,892
事業費計(A)	25,000	25,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	25,000	25,000

特定財源内訳や補足事項	消防団員等公務災害補償等共済基金
-------------	------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する	市民が災害に備えている割合	現状値	40.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
		火災件数	現状値	51	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 昭和39年非常勤消防団員に対する退職報償金が規定され、同年飯田市の条例で規定された。	事業を取り巻く状況の変化 現在飯田市消防団の条例定員は1,408名であるが、確保が難しい地域も多くなっている。またサラリーマン団員が7割を占める現在、昼間時の災害対応が難しくなっている。	事業に対する市民や議会の意見
---	--	----------------

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 国の基準に従っている		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 消防団員が減少する
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 功労への報奨は、退職報償金が最も相応しい		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 飯田市消防団員		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？ また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 飯田市消防団員

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	